NIST CSF 2.0 & IPA SecBoK 準拠

主催：会津大学・株式会社エフコム

サイバー攻撃対策演習講座2026

－AI脅威も視野に、無防備からの脱却へ－
中小企業・組織が自律的に守るためのステップ

目的とレベルに合わせて選べる2つの受講スタイル

Eラーニングコース（講義編）

「まずは自社の課題を整理し、今日からできる実践的なセキュリティ対策の基礎を固めたい方へ」

30,000円　（税込 / 1名）

・ オンデマンド配信：受講しやすい標準コース
全5講（✓ YouTube限定公開・繰り返し学習可）
✓ 最新かつ実践的なセキュリティ対策に関する知識を習得
✓ 自社環境課題レポート指導：M365/Google Workspace等の実務適用
✓ 講義に関するフィードバック：Q&A対応＆自社課題へ国井客員教授らが助言
✓ 修了証明：理解度テスト・会津大学修了証発行

Eラーニング ＋ 現地演習コース

「最新の攻撃手法（生成AI・クラウド攻撃）に対抗できる、組織のコア防衛人材・即戦力になりたい方へ」

363,000円　（税込 / 1名）

・ 現地演習開催：超実践・本格対応
✓ Eラーニング全5講（11月下旬～）＋会津大学での4日間対面ハンズオン演習
✓ 演習を通して、高度かつ実践的なセキュリティ対策スキルを習得
✓ サイバーレンジ活用：生成AI・クラウド攻撃者視点のリアル攻防体験
✓ トッププロ密接指導：国井傑客員教授らによる対面指導・即応訓練
✓ 高度評価：演習成績に応じた修了証発行

Eラーニング
2026.11月 下旬以降順次配信

現地演習
2026.12月8日～11日

＜講習会事務局：お問合せ・申込先＞

株式会社エフコム　講習会担当：長峯・佐々木
Tel　0242-36-5112（平日9:00～17:00）
Fax　0242-26-5750
E-mail　cyberexercises-info@f-com.co.jp

公立大学法人 会津大学　復興創生支援センター　担当：屋代、高橋、安西
Tel　0242-37-2533（平日9:00～17:00）
Fax　0242-37-2687
E-mail　revitalization@u-aizu.ac.jp

申込方法は、演習講座HP 又は上記二次元コードにアクセスし、「8　申込書」をご確認ください。

本講座が提供する3つのコア価値（アピールポイント）

1. 知識の土台（技術・組織）

学術的体系から最新の「ゼロトラスト」、さらに生成AIがもたらす新たなリスク・セキュリティ脅威までを網羅。「AI時代の自社にとってのリスク」を正しく理解し、進化する見えない脅威を解消。

【修了成果】
自社リスクの正しき理解

2. AI脅威も視野に総合的な防衛・即応体制

生成AIの悪用など高度な攻撃手法にも対応し、設計・構築から運用、現場脅威への異常対応までを網羅。組織のIT環境全体を安全に保ち、脅威に即座に対応できる実践力を養成。

【修了成果】
設計から異常対応までの総合防衛力

3. AI時代を生き抜く「自律化への第一歩」（自社課題）

自社の実システム（M365 / Google Workspace等）の安全な活用法やセキュリティ設定を、 AI時代の環境に合わせて検討する。自社の課題レポートを作成し、トッププロの専門家から直接評価を得る。

【修了成果】
具体的対策案の持ち帰り

カリキュラム体系（全5講・自社課題アドバイス＋Q&A対応・現地対面演習）

※ NIST CSF 2.0 / IPA SecBoK 準拠カリキュラム

コマ	講義テーマ	学習・演習内容と修了成果	担当講師	NIST CSF 2.0
第1講	サイバーセキュリティ概要・技術	学術観点での体系的概要、暗号・認証・最新技術動向	会津大学 中村 章人 教授	ID PR
第2講	セキュリティマネジメント・SCS対応	組織体制、SCS評価制度対応、リスク評価、コンプライアンス、全社教育	会津大学 阿部 泰裕 上級准教授	GV RS
第3講	インシデント初動対応と最新事例	事故発生時の検知・遮断・報告フロー、実際の攻撃事例と対応	㈱コンピュート 福原 英之 氏	DE RS
第4講	SOC運用技術と生成AIセキュリティ	SOC（監視体制）の役割、ログ分析、生成AI悪用攻撃の手口とAI利用におけるリテラシー	NTTグループ講師	PR DE
第5講	セキュリティ基盤とゼロトラスト実践	「常に検証・最小権限」原則、既存インフラから段階的にゼロトラストへ移行する具体策	NTTグループ講師	GV PR
特別指導	自社課題アドバイス＋Q&A対応	一般論と自社環境（M365/Google Workspace等）の架け橋。個別質疑応答（Q&A）＆自社課題アドバイス	会津大学 国井 傑 客員教授	GV PR
現地演習	サイバーレンジ高度攻防演習	会津大学キャンパス4日間。実機模擬環境（サイバーレンジ）での攻防・クラウド・生成AI実践演習	会津大学 国井 傑 客員教授 他	PR RS

【講義の成果還元】両コース受講者全員に「Q&A対応・自社課題への個別アドバイス」を提供
講義受講後、自社システム（M365 / Google Workspace等）や組織体制における課題をまとめたレポートに対し、国井客員教授や専門スタッフが個別のQ&A回答および具体的アドバイス・フィードバックを実施。明日から取り組むべき自社のセキュリティ改善策を持ち帰ることができます（※厳重な守秘義務対応）。

NIST CSF 2.0 準拠構造
体系的カバレッジマップ

※NIST CSFとは？
米国国立標準技術研究所（NIST）が策定したサイバーセキュリティ対策の標準的な指針です。

GV（Govern）ガバナンス・統治　ID（Identify）資産・リスク識別　PR（Protect）防御・安全管理
DE（Detect）異常・攻撃検知　RS（Respond）インシデント対応

最高峰の講師陣＆監修体制
会津大学教授陣・第一線のトッププロフェッショナルが結集

中村 章人 先端情報科学研究センター長。福島県警サイバー犯罪対策アドバイザー。学術的体系と最新脆弱性研究の第一人者。
阿部 泰裕 外資系IT・大規模インフラ経験。SCS評価制度対応・セキュリティマネジメントおよび演習設計を指揮。
国井 傑 ㈱エストディアン代表。Microsoft MVP。M365・クラウド防御のトッププロ。Q&A対応・自社課題アドバイスおよび現地演習を担当。
福原 英之 氏 ㈱コンピュート代表。大規模インシデント統括の実戦現場を持つ最高峰スペシャリスト。
NTTグループ講師 SOC運用・サイバー攻撃対応の最前線で活躍。実際の攻撃事例と防御ノウハウを基に、現場目線の実践的対策を解説。

ごあいさつ

AIの急速な進化に伴い生成AIを悪用した攻撃も巧妙化する中、企業や社会インフラにおける高度セキュリティ人材の確保は急務です。会津大学では2013年度より「サイバー攻撃対策演習講座」を開講しており、本年度は新たに生成AIセキュリティも盛り込み、最先端の脅威に対応する実践的なカリキュラムを用意しました。受講者の皆様が、最前線で通用する対応力を習得されることを大いに期待しております。

公立大学法人会津大学 理事長 兼 学長　東原 恒夫